

11月のてがたんにご参加いただきありがとうございました。観察記録のレポートを作成いたしましたので、ご覧ください。

次回12月のてがたんは12月14日(土)で、テーマは「冬の虫探し」です。ぜひご参加ください。市民スタッフのみなさま、次回の下見は12月8日(日)です。

## 11月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→親水広場→けやき広場→市民農園前
- 観察日時と天気：2019年11月9日(土) 10:00~12:00 晴れ
- 参加人数：25名(大人18名、中学生以下7名)
- 市民スタッフ：5名(石原直子、伊東茂子、小泉伸夫、弘實さと子、湯瀬一栄)
- 博物館友の会スタッフ：4名(北村章子、倉重力也、伴野茂樹、古澤紀元)
- 鳥博職員：1名(小田谷嘉弥)

## 観察した生き物の記録

[\*]は、下見だけで見られたもの。

### 【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：カルガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、ダイサギ、コサギ/クイナ科：オオバン/ミサゴ科：ミサゴ/タカ科：トビ、ハイタカ\*/キツツキ科：コゲラ/カワセミ科：カワセミ(声)/モズ科：モズ/カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/エナガ科：エナガ\*/ヒタキ科：ジョウビタキ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/ヒバリ科：ヒバリ\*/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ/アトリ科：カワラヒワ、シメ(声)/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ(声)、カシラダカ、オオジュリン/家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)/モズのはやにえ：ニホンアマガエル、ケラ

### 【両生爬虫類】

爬虫類：アオダイショウ、ニホンカナヘビ/両生類：ニホンアマガエル、ウシガエル、トウキョウダルマガエル

### 【昆虫】

チョウ目：キタテハ、ツマグロヒョウモン、ヒメアカタテハ、ムラサキシジミ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ベニシジミ、ウラギンシジミ、モンキチョウ、キタキチョウ、モンシロチョウ、チャミノガ、シロオビノメイガ、チャドクガ(幼虫)/コウチュウ目：ルリハムシ、ナナホシテントウ/バッタ目：コバネイナゴ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ、イボバッタ、ヒナバッタ、ツチイナゴ、ウスイロササキリ、クサキリ?、アオマツムシ、ツツレサセコオロギ、ミツカドコオロギ、ハラオカメコオロギ、カネタタキ、シバズ、マダラスズ、ハラビロカマキリ、オオカマキリ、カマキリ/カメムシ目：ヨコヅナサシガメ、ツマグロオオヨコバイ/トンボ目：アキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボ/ハチ目：オオモンクロベッコウ、オオスズメバチ、アシナガバチの仲間(巣)、スズバチ?(巣)

【クモ】 ジョロウグモ、アシナガグモの仲間、ハシリグモ?の仲間

【陸産貝類】 ウスカワマイマイ、ミスジマイマイ、不明大型マイマイ

【キノコ】 キツネノエフデ

### 【花・実】

花 キク科：セイヨウタンポポ、オオジシバリ、ヒメジョオン、カントウヨメナ、ノコンギク?、ハルノノゲシ、オニノゲシ、ハキダメギク、コセンダングサ、セイタカアワダチソウ、ハハコグサ、ノボロギク/シソ科：ホトケノザ/アブラナ科：イヌガラシ、ナズナ、ミチタネツケバナ/ナデシコ科：ウシハコベ/カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ/ツユクサ科：ツユクサ/タデ科：ミゾソバ、イヌタデ、ヤナギタデ/ハエドクソウ科：トキワハゼ/アゼナ科：アゼナ/実 アカネ科：ヘクソカズラ/マメ科：ツルマメ/タデ科：イシミカワ、ミゾソバ/ウリ科：カラスウリ/アケビ科：アケビ/スイカズラ科：スイカズラ/ブドウ科：ナツツタ/ニレ科：エノキ、ムクノキ/クスノキ科：シロダモ/バラ科：シャリンバイ/モクセイ科：トウネズミモチ/ヤマノイモ科：ヤマノイモ(むかご)

# 11月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「モズのはやにえを探そう」でした。親水広場から市民農園前までの間を歩いて、モズとそのはやにえを探しました。モズは3個体の雄を観察でき、ホオジロを追いかけるハンティングも観察できました。市民農園近くの植え込みで、2つのはやにえを見つけることができました。



今月の案内人  
小田谷嘉弥



①ウメの幹の割れ目にいたニホンアマガエル



②ウメの枝にあったスズバチ?の巣



③赤い実をつけていたシロダモ



④お腹がぼんぼんだったオオカマキリの雌



⑤カキの木のてっぺんで高鳴きしていたモズの雄



⑩モズによってはやにえにされたニホンアマガエル。しばらく時間が経って乾燥化が進んでいた。



歩いたルートと観察した生き物



⑪モズによってはやにえにされたケラ。アマガエルと同様に、止まり場よりもう少し下の植え込みの中に隠されていた。



⑥ヤマノイモの葉についていたウスカワマイマイ



⑦自切のあと再生した尾が伸びていたニホンカナヘビ



⑧けやき広場の水路に生えていたガマの穂



⑨遊歩道沿いの水路の白いミゾソバの実



⑫植え込みの中に見つけたモズの古巣

## 今月の鳥 モズ (スズメ目モズ科)

モズはスズメとムクドリの間くらいの大きさの小鳥ですが、タカのように鋭い嘴を使って他の動物を襲って食べる肉食性です。モズは秋から冬にかけて、捕えた獲物を木の枝などに刺して貯食する「はやにえ」を作ることが知られています。このはやにえは、何のために作られるのでしょうか。最近の研究で、作られたはやにえがいつ消費されるのか調べられたところ、モズの繁殖期の初めにあたる1月ごろに無くなるのがわかりました。また、はやにえを多く食べた雄ほど、早口で他の鳥の物真似をすることができ、より早く雌とつがいになれることがわかりました。はやにえは、翌年の繁殖期の前に体のコンディションを整えて、より確実に繁殖できるようにするためのエネルギー源となっているのです。



てがたんコースで見つかったモズのはやにえ(コバネイナゴ)。雄のなわばり中の止まり場の近くで見つかることが多い。